

2016 名古屋自然観察会・総会・講演会

(愛知県自然観察指導員連絡協議会名古屋支部)

日 時： 2016年2月28日(日)
総 会： 14:00~15:00 総 会
15:10~16:30 講演会

場 所： 市民活動推進センター会議室

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号
ナディアパーク デザインセンタービル6階

- ・地下鉄「栄」駅 7,8番出口より徒歩7分
- ・地下鉄「矢場町」駅 5,6番出口より徒歩5分



森勇一先生

講 師 森 勇一 Yuichi MORI 先生

プロフィール

愛知教育大学地学教室卒，三重大学大学院生物資源学研究科博士課程修了。博士（学術）。
愛知県立津島高等学校，愛知県埋蔵文化財センター，明和高等学校・津島東高等学校などを経て，現在，
金城学院大学薬学部講師。津島高校時代，研究する部活動（地学部）を指導し，85名の高校生を地学の道に進ませた。専門は，地質学・古生物学。高校教師のかたわら，先史～歴史時代の土の中に埋もれた昆虫を調べ，気候変動やヒトと自然との関わりについて追究してきた。

愛知県環境審議会・三重県文化財保護審議会・桑名市環境審議会各委員，なごや生物多様性センターアドバイザーほか，各種公職を兼務している。

著書「アンモナイトの約束」（風媒社），「ムシの考古学」（雄山閣）。「環境考古学ハンドブック」（朝倉書店），「環境考古学マニュアル」（同成社），「古代に挑戦する自然科学」（クバプロ）（いずれも共著）など多数。

演題 アンモナイトの約束ー「名古屋の自然」3つのジオストーリー

要 旨

●犬山市の栗栖，日本ラインの名で知られる木曾川下りの中でも，奇岩が多く難所とされる場所である。そこからアンモナイトの化石が発見されたのは1951年のことである。この化石が，正しく評価されるのには，何と40年以上の月日が流れた。



●知多半島先端部に分布する地層は，今から約1500万年前の海の地層。この中に含まれる化石が，変わっている。シンカイコシオリエビ・ハダカイワシ・シロウリガイ。。みんな深海性の生きものばかり。なぜだろう？

●シデコブシやシラタマホシクサ・イヌナシなどは，東海地方の丘陵地にのみ生息する不思議な植物である。東海丘陵要素植物とも呼ばれる。こうした分布が，どのようにして成立したか，その謎を地質学から探る。

アンモナイト

講演のあと懇親会 17:30から，15人で予約

中国料理 栄吉飯店【住所】名古屋市中区栄三丁目1-18 【連絡先】052-251-1188

飲み・食べ放題で3,200円。

◆問い合わせ・申込み先

名古屋自然観察会

滝田 久憲 TEL (052)782-2663 E-mail: takilin@sf.starcat.ne.jp

石原 則義 TEL (052)711-3087 E-mail: noriyoshibob@yahoo.co.jp